

広島市立北部医療センター安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	泌尿器科ロボット支援手術・腹腔鏡手術施行患者の背景因子・周術期アウトカムおよび術後経過を観察するレジストリ試験
研究責任者 (所属科名)	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科 主任部長 三田耕司
本研究の目的・意義	泌尿器科領域における腹腔鏡下手術は標準化された術式であり、多くの泌尿器疾患における外科手術に広く適応されている。ロボット支援手術は 2012 年の前立腺癌に対する手術が保険適用されたことから急速に普及し、今日では多くの施設において手術支援ロボットが導入されるに至り、中でも泌尿器科手術の占める割合は極めて高い。手術支援ロボットは DaVinci Surgical System (Intuitive 社) に代表されるが、最近になり純国産手術支援ロボット”hinotori”が開発、導入され始めている。このような背景から従来の腹腔鏡手術がロボット支援下に行われる流れはさらに加速していくものと予想される。本研究は泌尿器科ロボット支援手術および腹腔鏡手術施行時における背景因子・周術期および術後経過を観察することを通じて使用機器の違いによる患者アウトカムについて比較検討することを目的とする。
調査方法・調査期間	2012 年 4 月 1 日～2026 年 12 月 31 日に広島市立北部医療センター安佐市民病院泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科（旧広島市立安佐市民病院泌尿器科）で選定期間内に当院でロボット支援手術・腹腔鏡手術が施行された 20 歳以上の患者さんの情報を調査します。 調査期間は倫理委員会承認日から 2027 年 3 月 31 日までです。
該当資料・データ	★対象となる患者様 2012 年 4 月 1 日～2026 年 12 月 31 日に広島市立北部医療センター安佐市民病院泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科（旧広島市立安佐市民病院泌尿器科）で選定期間内に当院でロボット支援手術・腹腔鏡手術が施行された 20 歳以上の患者さん。 ★利用する情報 診療録（カルテ）、検査データを利用します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会・学術論文で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は一切利用しま

	せん。
共同研究機関	<p>広島大学大学院医歯薬保健学研究院腎泌尿器科学</p> <p>広島市立北部医療センター安佐市民病院泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科</p> <p>国立病院機構呉医療センター・中国がんセンター泌尿器科</p> <p>JA 広島総合病院泌尿器科</p> <p>県立広島病院泌尿器科</p> <p>三次市立三次中央病院泌尿器科</p> <p>国立病院機構東広島医療センター泌尿器科</p> <p>JA 尾道総合病院泌尿器科</p> <p>国立病院機構福山医療センター泌尿器科</p> <p>国立病院機構広島西医療センター泌尿器科</p> <p>中国労災病院泌尿器科</p> <p>マツダ病院泌尿器科</p> <p>たかの橋中央病院泌尿器科</p> <p>中電病院泌尿器科</p> <p>JR 広島病院泌尿器科</p> <p>松山赤十字病院泌尿器科</p> <p>中津第一病院泌尿器科</p>
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	<p>広島市立北部医療センター安佐市民病院 泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科 主任部長 三田耕司</p> <p>電話：082-815-5211（代表）</p>
備考	